

県P連だより

広島県PTA連合会

陽だまり

No.52

今年もごちそう



広島県PTA連合会
会長
松本 恵行

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私は平成29年度定例総会において会長の重職を仰せつかりました松本恵行と申します。

微力ではありますが、皆様のご支援ご協力をいただきながら、県内児童・生徒の安心安全確保、健全育成のために全力を尽くす決意でございます。何卒よろしく願います。

さて、子どもたちを取り巻く環境は年々厳しさを増していると感じています。その中でも、有害情報の氾濫等による社会環境の悪化や携帯・スマートフォン等を通じたトラブルに巻き込まれる事案が後を絶ちません。しかしながらこれらを所有することを否定するだけではなく、各ご家庭でお子さんと話し合い、ルールを決め、私達保護者が子どもたちを守ることが大切です。

本連合会では数年前より、様々な情報機器から離れて、家族でふれあう時間を過ごすことと、メディアについて考えてもらうことを目的に「アウトメディアチャレンジ」と題した取り組みを行って一定の成果を上げております。家庭内での絆を深めるためにも、本年度は毎月19日(トークの日)に実施し、引き続き取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。

また、子どもたちが今後激しく変化する社会に対応出来るよう、家庭内での学習も益々重要になってきますが、それと共に子どもたちのコミュニケーション力を高め、社会性を育むためにも「あいさつ」は欠かせません。まずは家庭内でのあいさつ運動を行っていただき、子ども

たちにあいさつの重要性、あいさつを通じて子どもとのコミュニケーションをはかり、お子さんの様子にも気に掛けていただきたいと思います。

昨今、一部のマスメディア等の影響でPTA不要論や未加入の問題が都市部を中心に、PTAの組織や運営、活動に支障をきたしているようです。時代に即応する活動を推進するため、活動の見直しや工夫、負担の軽減等の課題はありますが、私達も親の代からPTAを通じて育てていただいたことを、子どもたちに返して行く順番が巡って来ていると感じております。

私達が今現在行っているこのPTA活動が、必ず子どもたちを守り育む大切な活動であり、子どもたちの未来と日本の社会にとっても必ず有益な事であると確信しております。

本連合会では数年前に「PTA活動の手引き」を作成しました。広島県PTA連合会のホームページでもダウンロード出来ますので、是非ご活用いただき、一人でも多くの方々にPTA活動をより良く、素晴らしい活動にしていきたいと思います。

また、本年11月11日土曜日には「第47回日本PTA中国ブロック研究大会広島県ふくやま大会」が中国5県1市より2千人を超える参加者を募り、福山市緑町公園屋内競技場(ローズアリーナ)で開催されます。本大会では運営、お手伝い、ご参加等で皆様には大変お世話になりますが、チーム力で大会を盛り上げ、成功に導きたいと思えます。皆様のご参加ご協力をお願いします。

今後も私達保護者が横のつながりを密にし、子どもたちのため、私達保護者同士も学び合い助け合いながら、家庭・学校・地域とタッグを組んで、「チーム広島県」として、子どもたちを守り育んでまいりたいと思っておりますので、皆様方のご支援ご協力をお願いします。

最後になりましたが、各単位PTAをはじめ、それぞれの地域のPTA活動が、益々盛んになりますことを心よりお祈り申し上げます。会長就任のあいさつとさせていただきます。

平成29年度 広島県PTA連合会 新役員決定

「チーム広島県」として皆様とタッグを組み、PTA活動を通じて子どもたちを守り、育んでまいります。
(松本恵行会長)



役職名	名前	所属都市PTA	所属学校	委員会
会長	松本 恵行	福山市	城南中	広報委員会委員長
副会長	上野 博士	府中市	上下中	総務委員
副会長	坂田 美穂	廿日市市	宮島小・中	総務委員
副会長	山本 浩司	呉市	横路小	総務委員会委員長
副会長	今山 麻紀	東広島市	磯松中	教育研修委員会委員長
副会長	大塚佐知恵	福山市	幸千中	広報委員
副会長	山田 洋子	大竹市	小方小	教育研修委員
会計	相澤 健	豊田・竹原	竹原小	教育研修委員
理事	山下 裕美	江田島市	柿浦小	広報委員
理事	西諏訪一義	安芸郡	熊野東中	総務委員
理事	米田 奈那	東広島市	吉川小	教育研修委員
理事	坂本 麗二	安芸高田市	吉田小	総務委員
理事	西本 賢二	山形市	本殿小	総務委員
理事	花合 浩幸	三原市	上郷中	広報委員
理事	末重 英治	世羅郡	世羅西中	教育研修委員
理事	木曾 奈美	尾道市	久保中	教育研修委員
理事	赤木 俊二	神石郡	神石高原中	教育研修委員
理事	日傳 雅晴	庄原市	東城小	広報委員
理事	大岩由美子	三次市	十日市小	広報委員
監事	岸 正治	東広島市	竹仁小	母体委員
監事	高石 尚子	神石郡	油木小	母体委員
監事	隅井 秀司	山形郡	八重東小	母体委員

平成29年度 定例総会

平成29年6月1日(木)広島ガーデンパレスにて、平成29年度広島県PTA連合会定例総会が開催されました。平成28年度の事業報告、決算報告に続き平成29年度事業計画、予算が承認されました。また松本新会長をはじめとする本年度の新役員も承認され新年度がはじまりました。本年度は「ともに育もう 子どもの明るい未来のために」をスローガンとして活動していきます。子ども達を取りまく環境は年々変化していき様々な問題が生じてきている現在において、私たち保護者がまず学び大人として親として子ども達と共に成長していくことが大切です。PTAでの学びの機会を積極的に活用していきたいながら、そして多くの学びの中で感動を共有し、また学校や地域とも連携をとり子ども達の健やかな成長を見守りたいと思います。(広島県P連副会長 上野 博士)



全小・中学校PTA会長研修会報告

6月1日県P連総会後に行われた「全小・中学校PTA会長研修会」の講演では、昨年の母親代表研修会での講演が大変好評で、是非またお話しをお聞きしたいとの声が多かった福岡県警察本部生活安全部少年課 北九州サポートセンター統括係長 少年育成指導官の安永智美氏に再びお越し頂きました。

この度も「親ならわかれよ！～問題行動は子どもからのSOS～」という演題で、これまでのご自身が関わられた事例などを元に、大切な我が子が思春期の大事な時期に被害者にも加害者にもならないようにするために、親としてどのように向き合ったら良いのかお話し頂きました。

前回同様、沢山の『心のお守り』をお話しして頂きました。その中の一つで大変印象深かったのが、大事な我が子が加害者にも被害者にもならない様にするためには、まず、『心が強くなる子ども』に育てる。という事でした。

ひと昔前のアナログな時代とは違い、今

は何かとトラブルの多いネット社会の大変な時代に生きていく子ども達、いつ我が子が事件に巻き込まれるか分かりませんし、うちの子は大丈夫ではなく、巻き込まれるかもしれないと思ってしまう子どもを育てていくには、その原点は、『心が強くなる子ども』を育てるという事でした。

その方法の一つとして、「我慢・待つ・守る」これを、「親が教えていく。」という事だそうでした。そして、「認められ・褒められ・叱られる」そうすれば子どもの自尊心が育まれます、おのずと「心が強くなっている」方向に向かうというお話でした。

また、その上で、親子の信頼関係を築く一つに「ごめんねと子どもに素直に言える親は、子どもに信頼される」という事で



分科会報告

研修会で安永智美先生のお話を聞き、小学校、中学校で分科会の会場に分かれました。

人の命の大切さ、親子の愛情、実際に起きたいじめや事件の話に涙が溢れる講演会後、7～8人のグループに分かれ、親の立場、PTA会長(役員)という立場で講演で感じた事やそれぞれの課題などを話しました。



さすが、PTA会長さんの集まりという事で、役割分担も即決、活発な意見交換をしている中、安永先生も分科会会場をまわり、グループのみなさんと膝を交えお話をされました。

「広島の方は明るくて元気ですね。参加してよかったです。」と安永先生が言われた以上に、参加した会長さんたちの満足度は高かったように思います。(広島県P連副会長 大塚 佐知恵)

した。簡単そうで意外と中々出来ていない事かもしれません。でもお話しして頂いた事、その一つ一つを意識して子ども達と向き合っていければ良い方向に進むのではないかと思います。

そしてこのたびの講演会は会長研修会のため男性の方が多く、「お父さん」としての立場で聞いて頂けて母親とは違ったまたお父さんなりの感じ方をして頂いたのではないかと思います。私も思春期に入った子どもを抱えており日々奮闘しておりますが、このたびの貴重なお話を聞き「心のお守り」を常に胸に抱きながら頑張っていきたいと思えます。(広島県P連副会長 坂田 美穂)

研修会アンケート結果

講演会に参加された約330人のうち、220名あまりの方にアンケートの提出をいただきました。

このうち講演については、「ほぼ100%が良かった」と分科会についても「99%が良かった」と回答されています。

ここでは講演や分科会へ参加されたの感想について紹介してみます。

〈講演会〉

- ・初めて講演を聞いて思ったことは、親だけでなく小学校高学年などに聴いてほしいということでした。
- ・講演に大変心動かされた。自分に出ることを探して、あせらず一つずつ積み上げていきたいです。
- ・心がえぐられるような現実をつきつけられるようで心が苦しかった。信じてこつてすばらしい。
- ・どん底でも生きていけば救われる。やり直せる。とても良い講演でした。子ども達に伝えたいことが沢山出来ました。
- ・日々の生活の中で何気にも子ども達にかけている言葉を思い返し反省する所が沢山ありました。(例)外に出ていきなさい、頭を冷やしておいで、など。自分のふり返りが出来て良かったと思う。

〈分科会〉

- ・地域、規模等によりPTAの構成等も様々で運営の方法にも幅があることが分かった。
- ・分科会のフリートークでPTA活動の良い所、困っている所が聞けて良かった。参考になった。
- ・分科会では楽しく会話ができた。
- ・各地域での違いなどがよく分かり、自分の所がスタンダードではないと目からウロコのこともあった。

国内研修事業に 参加して

主催 (公社)日本PTA全国協議会
期日 平成29年3月26日~30日
場所 沖縄県渡嘉敷島



「二期一会」

この国内研修に行く前の自分は、話し合いの時、周りの人の意見を聞くだけだったり、知らない人ばかりだったら、人から話しかけられるのを待っていたりと、積極的に話し合いに参加することが苦手でした。でも、この国内研修でたくさんの方と話をし、そんな自分を変えたいと思い、参加することにしました。

まず、沖縄に到着すると、本当に周りは知らない人ばかりで、とても不安でした。しかし、自分を変えるんだと勇気を出して話しかけてみると、みんなとても優しく、お互いの住んでいる所の話などをして盛り上がり、これからの5日間がとても楽しみになりました。渡嘉敷村に着くと、リーダーの「耕ちゃん」と出会いました。この耕ちゃんはとても優しく話しかけてくれて、毎日のグループミーティングでは、班を盛り上げてくれました。みんなと仲良くなるきっかけとなって、出会えて本当に良かったです。

プログラムの中で特に印象に残ったのは海洋研修です。シュノーケリングやカヌー、カヤックをさせてもらい、自然の豊かさや仲間と力を合わせる大切さや楽しさを知りました。この研修で学んだことを、これからの生活に活かしていきたいです。例えば、僕はサッカー部の部長として、自分から積極的にみんなに話しかけていき、チームをまとめていきたいです。そして、最高学年の3年生として責任感のある行動をしていきたいです。

また、この研修では、たくさんの方との出会いがありました。この貴重な出会いを一生忘れることなく、大切にしていきたいと思っています。最後に、この国内研修で僕を助けてくれた方々に、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。ありがとうございました。

「少しの勇気で人は変わる」

この5日間の研修で、たくさんの方と交流を深めることができました。最初は全然知らない人ばかりで、これから仲良くなれるのかなと不安でしたが、みんなが「チャレンジ」という目標をもとに自分から積極的に話しかけて、交流を深めることができました。

この研修で心に残っていることは、2日目に行った村内散策です。この研修をする前は、村内に残っている「戦前」「戦中」を残す家や神聖なパワースポットなど、たくさん有名な場所があるということを知りませんでした。知った時はすごくびっくりしました、鳥肌が立ちました。自分の地域にはない美しい海や大自然、村の人々の温かさを体感できたことにうれしく思いました。戦中での出来事を私たちがこうして見れたということは、すごく貴重なことだと思ったり、このまま終わるのではなく、自分たちがどんどん伝えていかないとけないんだなと感じることができました。

私はこの研修でたくさんの方のことを学び、成長したと思うので、学んだことを忘れず、何事にもチャレンジしていこうと思います。自分の住んでいる地域で誇れることをまだ知らない人たちに知ってもらえるように地域中で取り組んでいこうと思います。この研修に参加できて本当に良かったです。ありがとうございました。

海田町立海田西中学校 百本 淳希



福山市立鳳中学校 越智 成美



楽しむ読書 役立つ読書

「読んでみませんか？」

国語の教科書



皆さんは、子供の頃に国語の教科書で読んだ文学作品を、今でも覚えていますか？内容を全て覚えていなくても、登場人物や印象的なセリフを覚えていた作品はあるのでしょうか。

教科書は四年に一度大幅な改定があります。そのため、国語の教科書に掲載される文学作品も常に変化していますが、中には何十年も掲載され続け、子供たちに読み継がれている作品もあります。

私が教科書で読み、セリフを今でも覚えている作品には、小学四年生用教科書掲載の「ごんぎつね」(新美南吉)と中学一年生用教科書掲載の「少年の日の思い出」(ヘルマン・ヘッセ/高橋健二(訳))があります。

「ごんぎつね」は、主人公の兵十が、ぎつねの「ごん」を間違って撃ってしまった時の「ごん、お前だったのか」というセリフ、「少年の日の思い出」は、友人の蛾の標本を盗み、壊してしまった主人公に投げられる「そうか、そうか、つまり君はそういう奴なんだな」というセリフが印象的でした。

これらの作品は、昔から教科書に掲載され続けており、「ごんぎつね」は六十年前、「少年の日の思い出」はなんと七十年以上前から掲載され続けています。

もうすぐ夏休みです。家にあるお子さんの教科書を手にとって読んでみませんか？皆さんが子供の頃に読んだ作品が、昔の懐かしい思い出を呼び起こしてくれるかもしれません。大人になった今読み返すと、違った発見がきっとあることでしょう。あるいは、現代の教科書には、皆さんが初めて出会う作品があるかもしれません。

教科書は子供が勉強のために読むもの—それだけではなく、大人が新たな作品に出会い、昔読んだときには得られなかった知識を得る喜びを感じるもの、そんな楽しみ方もオススメです。

(広島県教育委員会生涯学習課 右下 湧太)

広島県教育委員会からの

お知らせ

各小・中学校PTA・各都市PTAや
地域の研修会・講習会に

広島版「学びの革新」

講師を
派遣します！

PTA役員・
講演会担当
の皆さま

広島県教育委員会では、保護者の皆さまに
広島版「学びの革新」の取組をご理解いただく
ため、PTA主催の行事に職員を講師として派
遣しています

地域や学校での講演会などに
ご活用ください！



もみおん
©2016/05/05 藤文

なぜ今「学びの革新」なの？
授業はどう変わるの？
子供たちはどう変わるの？

主な講師

- 教育長 下崎邦明
- 教育次長 佐藤隆吉
- 教育部長 諸藤孝則
- 参事 北川干幸

まずはお気軽にご相談ください！

広島県教育委員会 秘書広報室

広島市中区基町9-42 ☎082-513-4934 kyoukouhou@pref.hiroshima.lg.jp
●月～金曜日/8:30～17:15 電話・Mailでご相談(土・日・祝日休み)

講演料・交通費等は一切不要です



広報委員 会特別賞	優秀賞										賞	
福山市立鷹取中学校PTA	東広島市立三永小学校PTA	東広島市立河内中学校PTA	福山市立福山中・高等学校PTA	尾道市立高西中学校PTA	尾道市立栗原中学校PTA	東広島市立郷田小学校PTA	呉市立呉中央小学校PTCA	福山市立多治米小学校PTA	呉市立警固屋小学校PTA	尾道市立土堂小学校PTA	東広島市立入野小学校PTA	学校PTA名
鷹取	太陽の子と親	若あゆ	あゆみ	鶴羽ヶ丘	会報 栗中	やまびこ	育て！ゆめの木	広報ため つなぐ	渦潮の団結	Tiip PRESS	たかむら	広報紙名

応募校数小学校28校・中学校11校から、次表のとおり、優秀賞、
広報委員会特別賞が選出され、全小・中学校PTA会長研修会の全
体において表彰されました。

小・中学校PTA広報紙コンクール表彰



平成28年度退任の理
事・監事14人、評議員・
代議員38人、広島県教
育委員会教育長感謝状
受賞者3人の延べ55人
を代表して、大場由美
子副会長が受賞され、
謝辞を述べられました。

感謝状贈呈

充実の補償で
お子様を
サポートします

●誤って他人のものを
壊したり、他人にケガを
させてしまったら…
(加害事故の補償)

インターンシップ(職場体験)
等に起因する法律上の賠償責任
も対象になります。

●授業中やクラブ活動な
ど、校内外を問わず発生
する急激かつ偶然な外来
の事故によるケガや病気*
の補償

*病気入院補償は
Hプラン・Wプラン
のみ対象です。



団体割引適用で
割安な保険料！

団体割引25%
損害率による割引30%適用
スクールメディカルデスク24でお子様
の健康相談を24時間受付

- 学校管理下中の学用品・
身の回り品などの補償
- 育英費用等

充実の補償でお子様をサポートします。
広島県PTA連合会
小・中学生総合保障制度



小・中学生総合保障制度はこども総合保険のベネネームです。
この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項
説明書」をよくお読み下さい。
詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。
この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決
定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
平成29年6月作成 募文No17-T02416



引受幹事保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

お問合せ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ中国四国 TEL: 0120-018-217
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社 TEL: 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は左記
「お問合せ先」にご請求下さい。

共同引受保険会社

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP